

人を育てる

寺子屋塾事務局長

なかた けいぞう  
中田 恵三さん



ることで日ごろた  
まった心身の疲れ  
を解消する。

井本代表の言  
葉、「人には動物  
性と人間性がある  
ので、人の不登  
は蜜の味」と思う  
のはごく自然なこ  
と。そう感じた分、  
反省を重ねて人間

を磨くと良い」を聞いてからは  
小さな言葉でも聞き逃さないよ  
うにしているとか。すると言葉  
の一つ一つが心に深く入ってき  
て、知らぬ間に感性が豊かにな  
っていたという。

会社の代表としても共に頑張  
る社員に経営状況を知らせる  
「ガラス張り経営」を採用。良  
い意見があれば積極的に取り入  
れる。社員全員で会社をつくり、  
伸ばしていくこうとしている。

このほか、スキューバダイ  
ビングやサイクリング、書道など  
趣味も多彩。何にでも意欲的に  
挑戦する。今後の目標は「もっ  
と寺子屋塾の存在を知ってもら  
い、存在価値を理解してもらい  
たい」と張り切る。吹田市在住、  
四十八歳。

河内長野市日野にある勝光寺  
で開かれている「寺子屋塾」  
（井本勝夫世話役代表）の事務  
局長。二十七歳のとき設立した  
ビルのトータルメンテナンス会  
社「ナカタ産業」の代表取締役  
としても、次代を担う若者の育  
成に力を注いでいる。

塾は二〇〇四年のスタート当  
初から携わっている。現在は月  
に二度のペースで例会を開催。  
知り合いや増進に声を掛け、毎  
回十人前後の参加者を集める。

活動内容は主に座禅を組んだ  
り、写経をしたり適に打たれた  
りといった精神の「修行」。意  
見を交換し合い、生き方や自分  
探しについて考える場を目指し  
ている。季節によって姿を変え  
る自然の壮大さを感じ、ゆった  
りとした時間を過ごす。そうす

精神の「修行」で若者育成

(編者寄)